

授業 コード	11202	科目名	心理学研究法		担当者		佐伯 恵里奈		
		副題		開講期	前期	単位数	2	DP対応	S1,S2
【授業概要】									
心理学の研究成果を正しく読み解くためには、心理学の研究方法を理解することが不可欠です。信頼できるデータとは何か、どのような手続きで適切なデータが取得できるのか、質的調査、量的調査、実験法という研究方法を紹介し、検討していきます。									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> 心理学の様々な研究法を分類でき、手続きについて説明できる。 心理学においてこれまでに主張されていることが、何を根拠になされているのか、その根拠は信頼に値するのかということが説明できる。 									
【授業方法・計画】									
パワーポイントと板書を用いて講義形式で授業を進めます。また、資料を読んでグループワークを行うこともあります。									
第1回	心理学と科学的手法								
第2回	質的研究と量的研究								
第3回	測定の尺度								
第4回	信頼性と妥当性								
第5回	標本の選定								
第6回	観察法1 観察事態と形態								
第7回	観察法2 観察法の留意点								
第8回	面接法								
第9回	質問紙調査1 質問紙の特徴								
第10回	質問紙調査2 尺度の作成								
第11回	質問紙調査3 実施方法								
第12回	実験デザイン1 実験倫理・変数の統制								
第13回	実験デザイン2 実験計画法								
第14回	まとめ								
【準備学習・復習】									
準備学習: 事前に配付された資料を読み、分からないところを把握する(100分) 復習: 配付資料を読み直し、習った知識について復習する(100分)									
【課題に対するフィードバックの方法】									
理解度確認のための小テストを実施したときは、解答の解説を行います。									
【受講上のアドバイスおよび注意事項】									
研究法は実践することにより理解が深まります。心理学基礎実験、心理学実験実習(1)(2)、社会心理学実験実習の実習科目の少なくともいずれかを併せて受講することを奨励します。									
成績評価方法	授業内容の理解度・授業へ取り組み姿勢(30%)と期末試験(70%)により評価します。								
教科書	教科書は指定せず、資料を配付します。								
参考書	授業内で適宜紹介します。								
SP2201	授業に関連する実務経験			なし					